※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）クラフト	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な素材や技法を用いて多様多種の作品制作を楽しむことにより、造形能力を高め美術に親しむ心を育てていきましょう。
・多くの種類の素材を使います。それぞれの素材の特徴を理解しましょう。
・用具の使い方もたくさん練習しましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，美的体験を重ね，生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。
(2)　造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3)　主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって造形活動に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に幅広い創作活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漆塗りのコースター制作	【デザイン】【立体】【鑑賞】 1．鑑賞 漆塗りの技法や作品について調べ、漆の歴史や文化を知る 2．構想を練る 日本古来の文様を調べ、活かしながらコースターのデザインを練る 3．制作 赤の漆を4層塗る 黒の漆を２層塗る デザインした文様をトレースし、三角刀で赤漆が見えるところまで彫る 生漆を２層塗り、よく磨く 4．鑑賞 友達の作品を鑑賞し、ワークシートに感想や意見をまとめる	a:（知識） 漆の技法や歴史、漆製品の成り立ち、デザインの意図や工夫について理解している。 （技能）漆の性質を理解し、道具を意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 b:（発想や構想） 模様の配置を工夫しながらデザインを工夫し、創造的に表現している。 c:（鑑賞） 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にイメージをもとに構想を練り、意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート 制作作品	制作作品	ワークシート 制作作品 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	鍛金による指輪制作	【デザイン】【立体】【鑑賞】 1. 鑑賞 身の回りの金属製品について調べ、身近な生活の中にある金属の存在について理解を深める。 2. 制作① 素材（洋白）を指輪の直径に応じて糸鋸で切断する。 制作② 輪になるように、洋白を片手ハンマーで叩いていく。 輪になったら銀ロウでロウ付けをする。 紙やすり、コンパウンドで研磨する。 3. 鑑賞 友達の作品を鑑賞し、ワークシートに感想や意見をまとめる	a:（知識） 金属製品の技法や歴史、素材の特徴を理解している。 （技能）素材（洋白）の性質を理解し、道具を意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 b:（発想や構想） 板状から輪になるように道具を適切に使用し、力のかけ方などを試行錯誤しながら創造的に表現している。 c:（鑑賞） 美術工芸の創造活動の喜びを味わい、主体的にイメージをもとに構想を練り、意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート 制作作品	ワークシート 制作作品	ワークシート 制作作品 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	水牛の角を使ったキーホルダー制作	【デザイン】【立体】【鑑賞】 1. 鑑賞 水牛工芸の技法や作品について調べ、歴史や文化を知る 2. 構想を練る アルファベット2文字を組み合わせたデザインを練る 3. 制作 デザインを素材（水牛の角）にトレースし、糸鋸で切断する。 棒やすりで削りながら形成する。 サンドペーパー、コンパウンドでつやが出るまで研磨する。 4. 鑑賞 友達の作品を鑑賞し、ワークシートに感想や意見をまとめる	a: （技能）意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 b: （発想や構想） アルファベット２文字を使ったデザインを考え、創造的に表現している。 c: （鑑賞） 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にイメージをもとに構想を練り、意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。	アイデアスケッチ 制作作品	アイデアスケッチ 制作作品	アイデアスケッチ 制作作品 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度